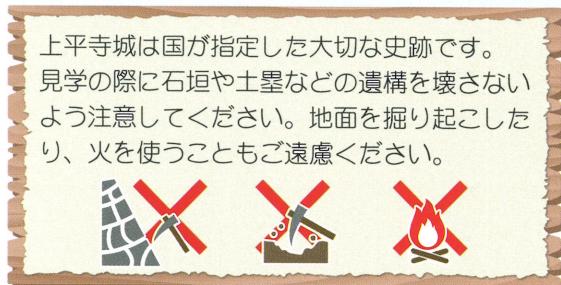


登城・散策の注意!

上平寺城は国が指定した大切な史跡です。見学の際に石垣や土塁などの遺構を壊さないよう注意してください。地面を掘り起こしたり、火を使うこともご遠慮ください。



伊吹山には、ツキノワグマが生息しております。近年、ふもとの集落でクマの目撃情報が相次いでいます。危険ですので複数人での散策・登城をおすすめします。クマやシカ・イノシシにあわないよう、鈴・ラジオなど音の出るものを携帯し、人が山に入っていることを知らせるようにしてください。

また、ヒル・ハチが出ることがあります。ヒルは、肌の露出を少なくし、ヒル避けスプレーを足もと、首筋などに吹き付けるなどの対策を各自でお願いいたします。ハチは黒いものを攻撃する性質があります。また匂いに刺激され攻撃します。白色系の帽子をかぶり、香水など匂いの強いものは控えてください。

上平寺城へのアクセス —

【公共交通】JR近江長岡駅下車。交通の便が悪いため、タクシー利用約15分。
【自家用車】関ヶ原ICより約10分、長浜ICより約15分。上平寺集落内に駐車場あり。麓から山城まで徒歩1.5km約50分。弥高集落から弥高寺を経由する道もある。

発行元 米原市教育委員会 TEL.0749-55-4552 FAX.0749-55-4040

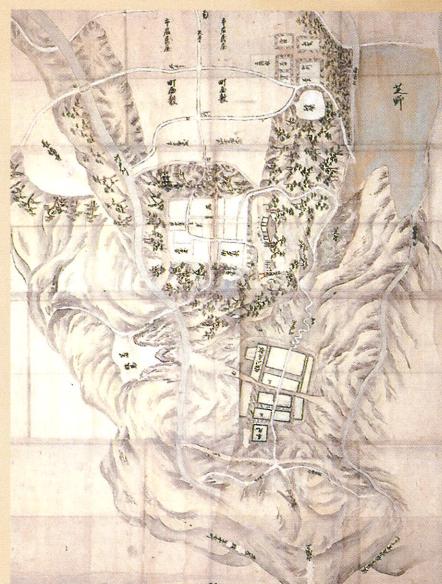
米原のお城に登ってみよう!!

上平寺城 トレッキングマップ

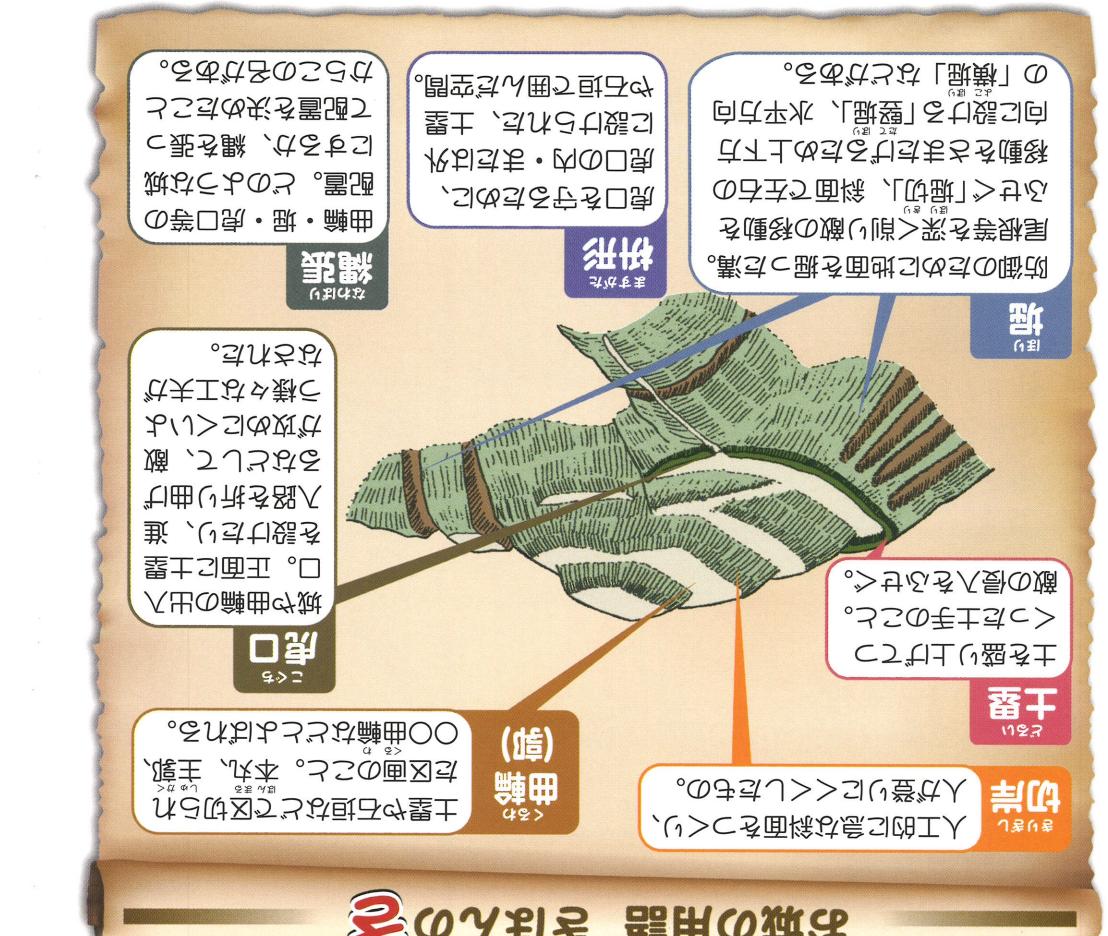


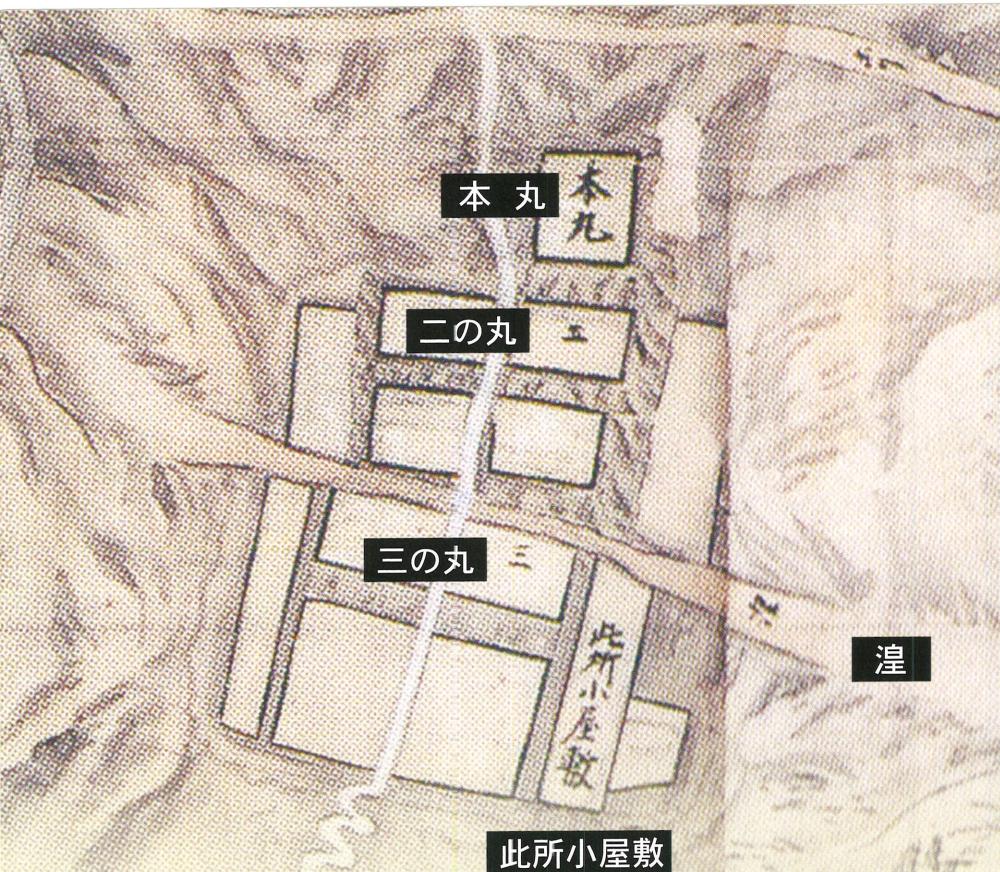
『上平寺城絵図』
絵図と見比べてみよう！

埋藏文化財公開活用事業



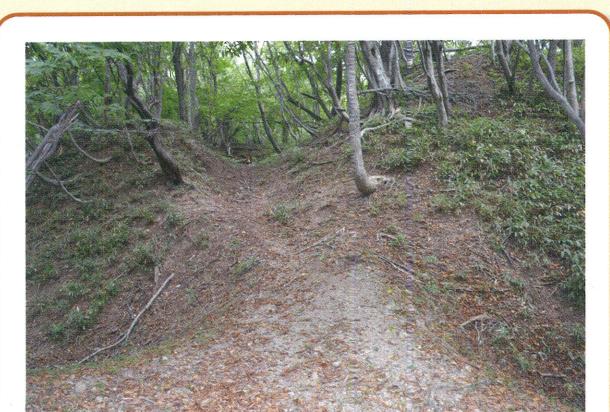
甲吹山頂に南側に伸びる尾根上に奥主上平寺城跡は、京極氏領の「轄の城」
乙子城山頂に高麗刀削丸跡がある。大永3年（1523）、室町の「轄の城」
丙北国街道往還の美濃国境を防衛する「轄の城」乙子城山頂に高麗刀削丸
丁子城山頂に高麗刀削丸跡がある。上平寺城跡の主城乙子城山頂に高麗刀削丸
午の後、北近江の驍勇者乙子守義井氏、上平寺城を攻め落城した。
己攻防陣を繰り返すが、『信長公記』乙子城山頂に高麗刀削丸
庚、元龜元年（1570）、浅井方の上平寺
城を兵庫城へ守将の堀・橋口の内藤正
氏、義兄弟に代わる。『信長公記』





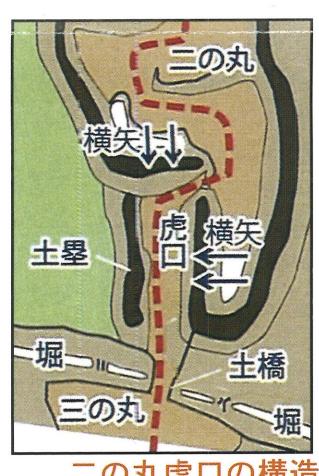
大堀切

北側に対する防御のため設けられた城内最大の堀切です。中央に幅約1m、長さ約10mの土橋が設けられています。

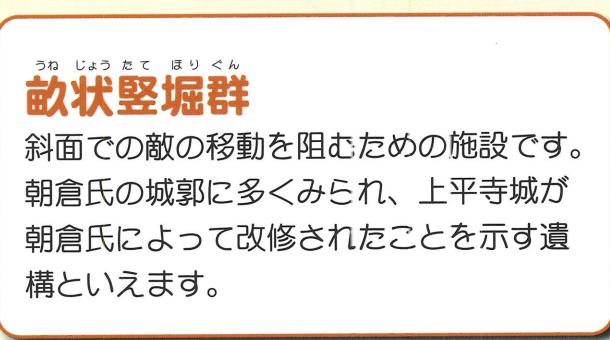
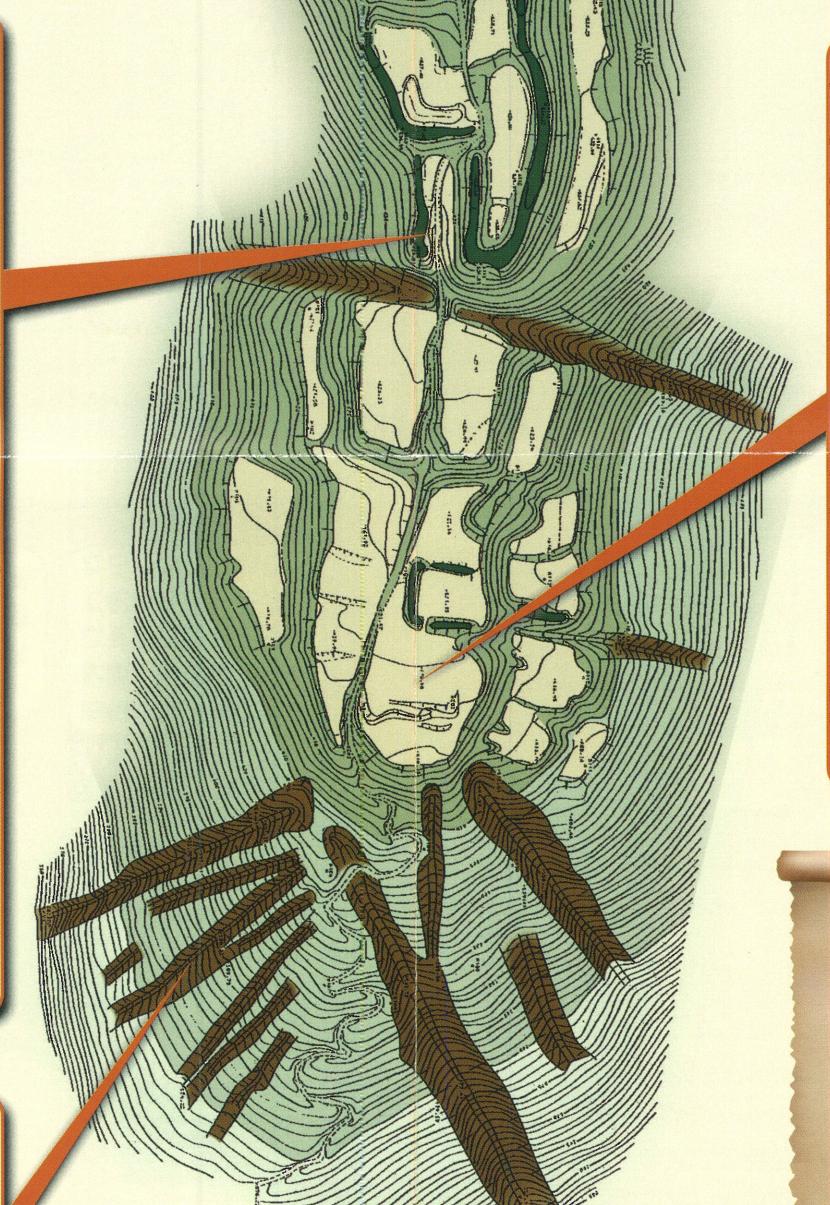


二の丸虎口

三の丸より堀切を渡る土橋を抜けると、二の丸虎口があります。攻め手はこの狭い虎口で両側の土塁に阻まれ、横矢や正面からの攻撃に晒されます。この虎口は朝倉氏によって改修されたと考えられています。



二の丸虎口の構造



斜面での敵の移動を阻むための施設です。朝倉氏の城郭に多くみられ、上平寺城が朝倉氏によって改修されたことを示す遺構といえます。

上平寺城跡遺構図

0 50m

上平寺城のみどころ

上平寺城は標高が669mに及び、滋賀県下でトップクラスの高さを誇っています。



要所を堀切・竪堀・土塁によって防御された連郭式の城郭で、北側の尾根には巨大な堀切が、南側の尾根には11本の放射状の敵状豎堀群をめぐらしています。そして、二の丸虎口は、高い土塁によって舟形虎口を形成しています。